

第16回 IUGG 総会について

期 日：1975年8月25日～9月5日

場 所：Grenoble (フランス)

登録・その他：

- 1) 登録料は約 \$ 30.
- 1) 抄録は IAMAP Secretary (Dr. W.L. Godson) およびシンポジウムの座長に1975年2月20日までに必着のこと.
- 1) IAMAP Secretary で審査(提出した抄録が必ずしも全部採用されるとは限らない)した上で、最終的なプログラムと抄録を1975年5月1日までにフランス組織委員会に提出.
- 1) 抄録は直接印刷用にタイプ用紙1枚以内、ダブルスペース、フランス語又は英語.
- 1) 各々のシンポジウムについては、“lead” Association が決められます.

プログラムの概要

(I) IAMAP が lead Association のシンポジウム(左側の数字はプログラム番号).

16. Meteorological and Hydrological Aspects of Continental Drought

座長：Dr. J. Charney, U.S.A.

日時：8月27日，午前と午後

18. GARP First Objective: Weather Predictability

座長：Dr. R.W. Stewart, Chairman JOC, Canada

日時：8月27～30日，午前と午後

最初の2日は GATE に関するもので，参加される方は直接 Dr. Stewart に連絡して下さい.

19. GARP Second Objective: Climate Change

座長：Dr. B.R. Bolin, Sweden.

日時：9月1～2日，午前と午後

1975年8月17～23日まで Norwich で行われる Long-Term Climatic Fluctuations についての WMO/IAMAP シンポジウムと関連して行われる.

21. Atmospheric Pollution

座長：Dr. C. Junge, F.R.G.

日時：9月4，5日，午前のみ

22. Stratosphere/Mesosphere Relations

座長：Dr. J.B. Gregory, Canada.

日時：8月26日，午前と午後，8月27日，午前

31. High Atmosphere and Space Problems in Atmospheric Electricity

座長：Dr. H. Dolezalek, U.S.A.

日時：8月30日，午前と午後

32. Weather Modification

座長：Dr. H.K. Weickmann, U.S.A.

日時：9月5日，午前と午後

Ice and Snow Crystals

座長：Dr. R. List, Canada

日時：8月27日，午前と午後

(II) IAMAP が関連するシンポジウム

8. Planetary Atmosphere Evolution

座長：未定

日時：9月1日，午前と午後，9月2日，午前のみ.

9. Analysis, Processing and Interpretation of Geophysical Data

座長：Dr. R. Langel, U.S.A.

日時：9月1日，午前と午後，9月2日，午前.

15. Effects on Ocean Environment from Large-Scale Modification of Fresh Water Systems

座長：Dr. J.A. Elliott, Canada

日時：8月26日，午前と午後.

17. Isotopes and Impurities in Snow and Ice

座長：Prof. H. Oeschger, Switzerland.

日時：8月28，29日，午前と午後.

20. Marine Pollution

座長：Prof. M. Uda, Japan

日時：9月3日，午前と午後，9月5日，午後.

23. Optical Sensing and Probing of the Atmosphere

座長：G.M. Weill, France

日時：8月27日，午後，8月28日，午前と午後.

24. Tidal Interactions

座長：Dr. O. Schneider, Argentina.

日時：8月28日，午前と午後，8月30日，午前.

25. Global Effects of the Interplanetary Medium-Magnetosphere-Lower Atmosphere Interactions

座長：Dr. W.O. Roberts, U.S.A.

日時：9月3日，午前と午後，9月4日，午前.

28. Motion and Structure of Oceans under a Time-

Dependent Atmosphere

座長：Dr. E.C. LaFond, U.S.A.

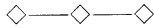
日時：session A) 8月29日, session B) 9月5日,
session C) 9月2日, session D) 9月3日.

30. Oceanic Optics

座長：Dr. N. Jerlov, Denmark.

日時：8月29日, 午前と午後.

なお詳細なことは、岸保勘三郎（東京都文京区弥生町2-11-16, 東大理学部地球物理学教室）までご連絡下さい。また抄録を送付される方は写しを岸保まで送付して下さい。



IAMAP Secretary: Dr. W.L. Godson の住所
Atmospheric Environment Service 4905 Dufferin
Street Downsview, Ontario, Canada

IAMAP (lead Association) シンポジウム座長住所

16. Dr. J. Charney, Meteorological Department,
Massachusetts Institute of Technology, Cam-

bridge, Mass., U.S.A.

18. Dr. R.W. Stewart, Director-General, Pacific
Region, Ocean and Aquatic Affairs, 512
Federal Bldg., Victoria, B.C., Canada.

19. Dr. B.R. Bolin, Arrheniuslaboratoriet, Fack,
S-104 05 Stockholm, Sweden.

21. Dr. C. Junge, Director, Max-Planck Institut
für Chemie, Postfach 3060, D-65 Mainz,
Saarstrasse 23m, West Germany.

22. Dr. J.B. Gregory, Physics Dept., University
of Saskatchewan, Saskatoon, Sask. S7N 0W0
Canada.

31. Dr. H. Dolezalek, 1812 Drury Lane, Hollin
Hills, Alexandria, Virginia, 22307, U.S.A.

32. Dr. H.K. Weickmann, 603 Wewoka Drive,
Boulder, Colorado, 80302, U.S.A.

Dr. R. List, Atmosphärenphysik ETH, Hög-
gerberg HPP, 8049 Zurich, Switzerland.

==== 講演企画委員会だより ====

夏期大学講座を省りみて

第8回夏期大学講座は7月29日～8月1日気象庁講堂において催された。今回は気候変動を特集した。このテーマは一般国民にも大いに関心をもたれつつあり、且、講師陣も各々名の知られた方々のためか、参加者は教員を主体にして従来にない多数の参加を得ることができた。

当日会場において実施したアンケートをまとめると次のとおりである（回収枚数56）

● 夏期大学の出席回数

① 始めて 33人 ⊕ 2回 11人
② 3回 8人 ⊖ 4回以上 4人

● 夏期大学出席の目的

① 教育のため 17人 ⊕ 自分の勉強 40人
② 興味がある 15人 ⊖ その他 1人

● 講義の程度

① むずかしい 12人 ⊕ やさしい 9人
② ちょうどよい 34人

● 1人の講師が2時間30分講義するのは

① 長い 9人 ⊕ 短い 7人
② ちょうどよい 40人

● その他特徴的な意見として次のものがあつた。

・今後気象と人間、社会とのかかわりあいみたいなのをのぞむ。根本さんの異常気象と社会などおもしろかった。

・「現場」の気象にじかにふれたと思う。

・見学は中途半端、実験実習など入れてほしい。

・7月下旬は学校の行事が多いので8月下旬にしてもらいたい。

・今後の希望

気象衛星、雲物理、集中豪雨等があつた。

・その他会場設置（マイク、黒板の使い方、テスト（ミスプリ、配布）について批判があつた。

全体としては好評でこのような企画を続けてもらいたいという意見がたくさんあつた。これらアンケートは今後の参考にしていきたい。